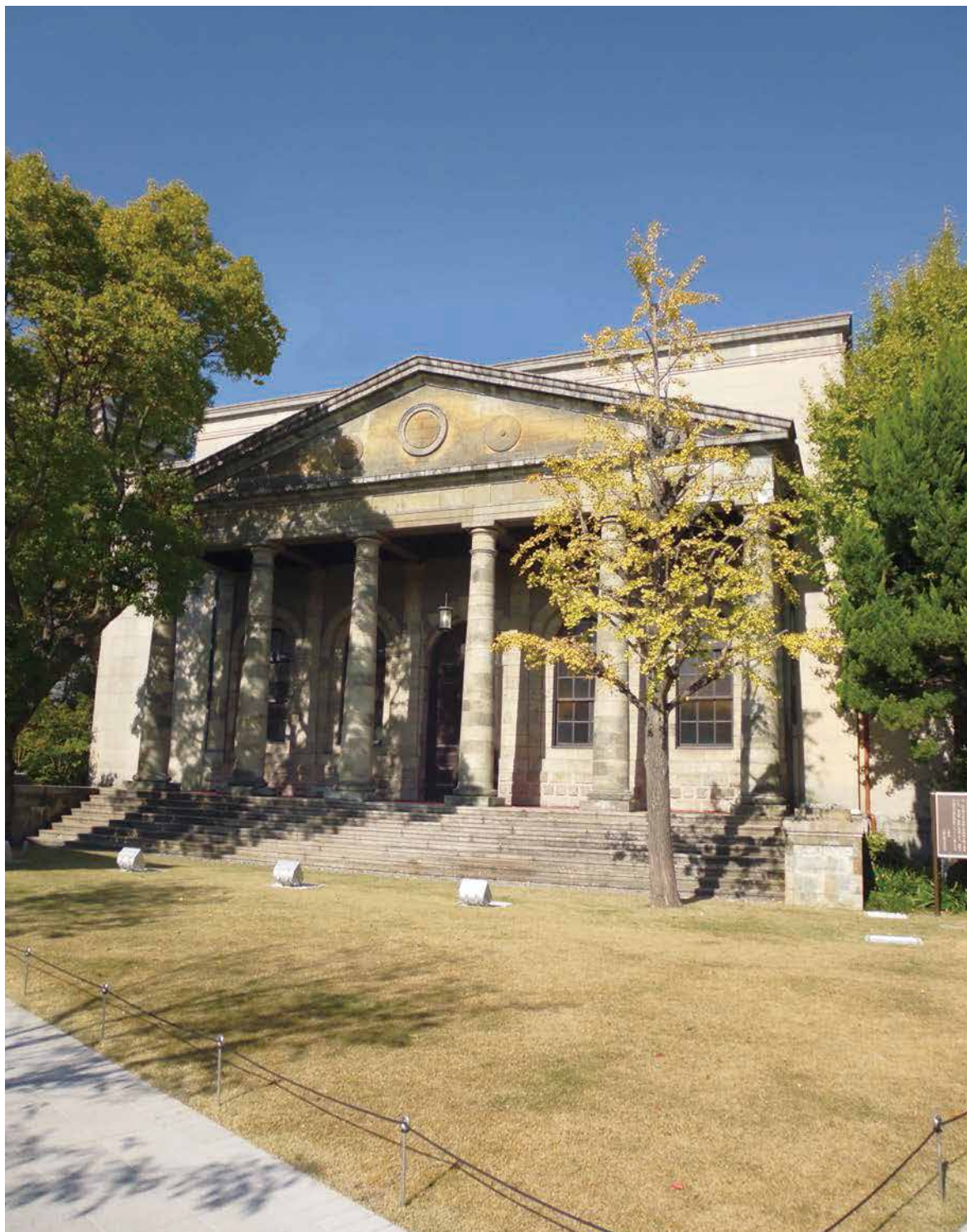


大空衛

第74号
(新春号)



一般
社団法人

大阪空気調和衛生工業協会

〔目 次〕

巻頭言 新年のご挨拶 会長 太田 隆 …… 1	経営委員会「消費税」「補助金」講習会開催……24
新春メッセージ	青年部会 営業実務研修会を開催……25
大阪府知事 松井一郎…… 2	官公庁との懇談会を開催……26
国土交通省 近畿地方整備局 営繕部長 住田 浩典…… 3	第40回野球大会……27
新年交礼会 盛大に開催 …… 4	大空会ゴルフ大会を開催……31
日空衛 第20回全国会議開催 …… 5	ボウリング大会を開催……32
平成25年度 安全衛生大会開催 …… 7	4団体協議会を開催 ……33
第5回配管技能コンテスト開催 ……10	告知板 (賛助会員募集・日赤から表彰) ……34
特別寄稿 (技能五輪全国大会出場) ……17	協会発行図書案内……35
平成25年度 安全パトロール実施 ……19	基礎知識研修会受講ガイド……36
平成25年度 職長・安全衛生責任者教育を実施……22	年賀ご挨拶(会員・賛助会員一同)……38
	編集後記……40

(表紙写真)

旧桜宮公会堂 (大阪市北区)

大阪市内の桜の名所といえば、毛馬桜之宮公園が筆頭にあげられる。大川(旧淀川)に沿ったプロムナードには桜並木が続き、シーズンともなればたくさんの屋台が出て花見客で賑わう。この花が散る頃には近くの造幣局でまた趣の異なる桜見物「通り抜け」が始まる。この大川沿い、桜宮橋・新桜宮橋の西詰に旧桜宮公会堂はある。

1935年に明治天皇記念館として建設された洋風建築で、正面玄関は国の重要文化財となっている。玄関は1870年建設の造幣寮(現造幣局)を移築したもので、ローマ神殿風の石造りが重厚な雰囲気を醸し出している。

長らく閉鎖されていたが、民間会社が大阪市から借り受けて歴史的建築物の構造全体を残し、また建物内を当時の様式美を生きながらリノベーションし、結婚式場、カフェ・レストランとして昨年オープンした。向かい合って国の重要文化財の洋館「泉布観」がある。



新 年 の ご 挨拶

会 長 太 田 隆

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、平成26年の新春を健やかに迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

さて、去年はアベノミクス効果による円安・株高に加え、2020年東京オリンピックの開催決定という明るい話題もあり、景気回復の兆しが見えてきました。

しかし、建設業界においては、バブル経済の破たん以降、建設投資の減少、競争の激化が就労環境の悪化を招き、人材不足が顕在化してきています。当然ながら、空衛業界も、技能労働者の高齢化、若年技能者不足という大きな問題に直面しています。

国土交通省も、これらの問題に対応するため、「担い手確保・育成検討会」を設置し様々な角度から検討が始められました。当協会も、その進展に着目し、いちはやい対応をと考えております。

私達空衛協会では、本来の協会活動はもとより、特に若年技能者の育成、青年部会の活性化に取り組んでおります。若年技能者の育成については、全国で唯一、一般配管工と高校生が同時に参加する配管技能コンテストを開催し、技能力の伝承、育成を図っております。また、青年部会においては、社会貢献活動をはじめ、協会の各委員会活動に参画していただくことにより、次世代への育成を考え、活動を行ってまいります。

最後になりましたが、今後とも協会活動を活性化し、設備工事業界のさらなる発展のため、会員・賛助会員のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、各社の繁栄並びに皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



年頭所感

大阪府知事

松井 一郎

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、経済面でもようやく回復基調がみられる中、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定するなど、日本全体に明るい兆しを感じる年となりました。大阪においても、うめきたの先行開発区域グランフロント大阪の開業といった、明るいニュースがありました。

知事就任以来「大阪の再生」が「日本の成長をけん引する」という強い意志の下、「変革と挑戦」の取り組みに全力を注いでいるところです。就任3年目を迎え、2014年は、さらなる飛躍の年にしたいと思います。

柱の一つは、大阪府と大阪市で一本化した「大阪の成長戦略」に基づく持続的な「成長」の実現です。その起爆剤となるのが「特区」です。大阪から「世界に打って出る」

「世界を取り込む」をテーマに、全国一大胆な提案を大阪府・大阪市共同で行いました。今年は、特区の地域指定などが予定されており、指定獲得に向け取り組みます。

そして、特区による経済効果をさらに広く府域全体に波及させ、大阪経済の主役である中小企業等の皆さんにも、景気の回復を実感していただきたいと考えています。

さて、建設産業の現状は、東日本大震災の被災地における復旧・復興事業に加え、アベノミクスにおける機動的な財政支出による公

共事業等の増加により、回復の兆しが見えつつも、いまだ個々の建設企業にとっては厳しい状況が続いています。

現場で活躍する職人の雇用環境の悪化により、若年者の入職が減少し、建設生産を支える技能・技術の承継が困難となっている中、貴協会におかれましては、配管工や未来の技能者を目指す高校生を対象とした配管技能コンテスト等を実施され、優れた技能者の確保と社会的地位向上のために、たゆまぬご努力を重ねられておられます。

大阪府においても、技能労働者の適正な労働賃金の確保や雇用環境の改善方策のひとつとして、不良・不適格業者と位置づけられた社会保険等未加入業者を排除すべく、昨年11月から公告する全ての建設工事案件について、入札参加資格に社会保険の加入を条件としており、今後も段階的に取り組みを強化してまいります。

今後とも、大阪の建設産業、そして大阪・関西経済の牽引役としてご活躍いただきますとともに、大阪府政の推進に、なお一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会のますますのご発展と、本年が皆様にとって実り多い素晴らしい年となりますよう心からお祈りします。



新年のご挨拶

国土交通省 近畿地方整備局

営繕部長 住田 浩典

平成26年の年頭にあたりまして、謹んで新年のお祝いを申し上げます。

一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会並びに会員の皆様方には、すがすがしく新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より、国土交通行政の推進、営繕事業の執行にあたり、深いご理解とご協力をいただいていることに、厚く御礼申し上げます。

昨年は、台風18号により近畿地方に甚大な浸水被害があるなど、東日本大震災以降に言われております国土強靱化の必要性を差し迫った問題として認識された年でした。また、老朽化するインフラ対策は喫緊の課題となっており、11月には政府が「インフラ長寿命化基本計画」を決定したところです。

これに対し、私ども営繕部では、平成26年度官庁営繕関係予算要求における基本方針として、

「南海トラフ巨大地震等に備えた官庁施設の地震・津波対策を推進するため、防災拠点となる官庁施設の防災機能強化」と、「既存官庁施設を安全により長く利用し、トータルコストの縮減等を実現するため、長寿命化事業の実施、機能維持する保全手法の検討の両面から官庁施設の長寿命化」の2つをあげています。

1つ目の防災拠点となる官庁施設の防災機能強化の地震対策については、建物の構造体だけでなく、外壁・建具などの建築非構造部材及び建築設備を含む建物全体として、総合的な耐震安全性を確保するための整備を実施します。設備関係では

設備機器及び配管類の移動、転倒及び破損を防止し、大地震動後において大きな補修することなく施設の活動内容に応じて必要となる設備機能を相当期間継続して確保出来るようにすることになります。また、津波対策については、津波が来た後も災害応急対策活動に必要な機能として、電力・通信の機能確保や水の確保が出来るように自家発電設備や受変電設備、水槽の上階設置などの整備を実施します。

2つ目の官庁施設の長寿命化については、現在、築後30年以上を経過したものが約4割を占め、今後、大規模修繕や大型設備機器の更新が増えるため、既存官庁施設を安全により長く利用し、老朽化の進行を防ぐ長寿命化事業の実施であるハード対策と、効果的・効率的に機能維持する保全手法等の検討であるソフト対策の両面から官庁施設の長寿命化を図っていきます。

以上のように、営繕事業における建築設備の果たす役割は大きく、貴協会会員の皆様に一層のご理解とご協力をお願いする次第です。

多様化・高度化が著しく進む建築設備の分野において、技術の研鑽に取り組みおられる貴協会並びに会員の皆様のご尽力に敬意を表しますとともに、今後も技術力と経営力の向上および人材育成を通じて業界がより一層発展していかれることを期待しております。

最後になりますが、貴協会並びに会員の皆様にとって本年が飛躍の年となることを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

平成26年

新年交礼会 盛大に開催



年頭の挨拶を述べる太田会長



来賓祝辞を述べる住田様

平成26年新年交礼会は、1月9日午後6時から大阪・難波のスイスホテル南海大阪で国土交通省近畿地方整備局や大阪府など諸官公庁、近畿各府県空衛協会並びに関係諸団体からの多くのご来賓をお迎えし総勢約330名が参集して開催しました。

年頭挨拶に立った太田隆会長は、「アベノミクス効果による円安・株高に加え、2020年東京オリンピック開催決定という明るい話題もあって景気回復のきざしがみえてきた。しかし一方、建設業界では人材不足が顕在化し、当空調衛生

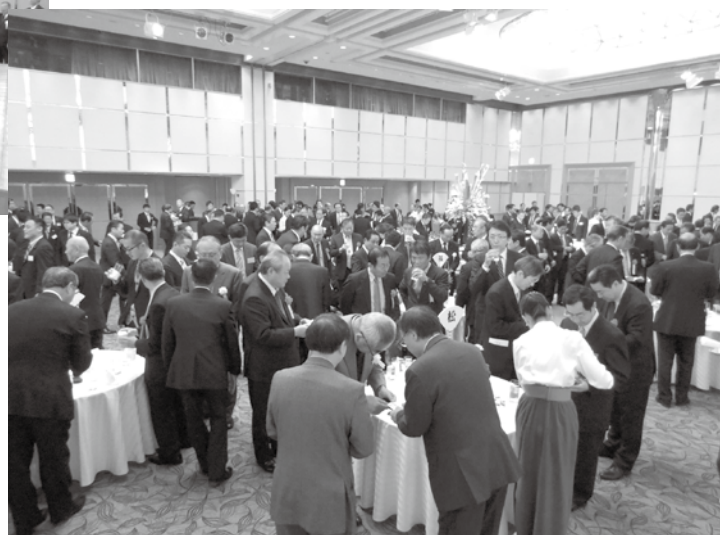
業界も技能労働者の高齢化と若年技能者の不足という大きな問題に直面している」述べ、全国で唯一実施している配管技能コンテストなどを通じ、引き続き若年技能者の育成に取り組む決意を示しました。

来賓挨拶に立った近畿地方整備局営繕部長・住田浩典様は、同省営繕事業として、南海トラフ巨大地震などに備え、防災拠点となる官庁施設の防災機能強化と既存官庁施設の長寿命化——の2つの施策を説明し、「営繕事業における建築設備の果たす役割は大きく、貴協会会員の皆様に一層のご理解とご協力をお願いする」と述べました。

城口俊雄副会長の発声で乾杯したあと、和やかに交歓し、2014年の門出を祝いました。



新年の門出を祝って乾杯



年賀挨拶を交わしながら和やかに交歓

日空衛 第20回全国会議開催

「空衛工事業の独自性確立」達成へ



全国から約360人が参集（円内は挨拶する大内会長）

日本空調衛生工事業協会（日空衛、会長大内厚氏）の第20回全国会議が10月24日に仙台市で開催され、業界の積年の課題である「空調衛生工事業の独自性の確立」と「低炭素社会の実現」へ向けて力を結集していくことを再確認するとともに、東日本大震災による設備機器の倒壊・落下などの被害状況と今後の防止策について事例を発表し、さらに、設備工事に使用する消耗品・小材料の管理方法などを学んだ。

東北での全国会議は昨年予定されていたが、大震災の影響で1年繰り延べして開催された。都道府県単位の空調衛生工事業団体から役員を中心に約360人が仙台国際ホテルに参集。挨拶に立った大内会長は空調衛生工事業を取り巻く情勢について「省エネに対するニーズの高まりの中、当業界は大きなビジネスチャンスに遭遇している。長年蓄積した設備技術を駆使してそのニーズに応えることが協会のスローガンである『低炭素社会の実現』を果たすことになる」と述べた。

さらに大内会長は、国土交通省が指導している建設技能者の待遇改善と社会保険加入促進について触れ、「適正な賃金確保に注力するとともに、見積書への法定福利費の明示などで保険未加入者問題に対応する一方、将来に向けた建設技術者・技能者の育成に取り組もう」と呼びかけた。

続いて、国土交通省東北地方整備局の小池剛局長が挨拶に立ち、「公共工事設計労務単価を引き上げ、各建設団体へその新労務単価の浸透を要請してきたが、設備工事業界においても技能者が賃金が上がったと実感できるような取り組みを望みたい。また、省エネへの取り組みも一段と強化してほしい」と激励を込めて期待の言葉を述べた。



来賓挨拶する
小池・東北地方整備局長



復興庁の
中島事務次官が基調講演

このあと、復興庁の中島正弘事務次官が「東日本大震災からの復興の現状と最近の取り組み」と題して基調講演を行った。中島次官は、供給目標約5万戸の復興住宅建設について、平成25年度末で同住宅への入居は全体の1割、26年度末で5割、27年度末で7～8割をめざしていることを明らかにし、「土地の手当てなどさまざまな困難な課題に直面しているが、被災者の

方々とのコミュニケーションを密にし、細かいことの積み重ねでそれらを克服していきたい」と決意を示した。一方、中島次官は当業界に対し、「耐震といえば、建物躯体が中心になりがちだが、設備系の耐震にも注力し、水、電気、エレベータ駆動の確保などで災害発生時から一定の期間、避難所などに避難せずともその建物内で最低限の生活ができる建築物を築いてほしい」と要望した。

小憩のあと、2つの事例発表が行われ、まず、東北空調衛生工事業協会の峯田喜次郎・技術副委員長が「東日本大震災による設備機器被害状況～その2」と題して大震災被災地の建物・施設の設備機器被害とその後の対策(復旧)を写真などで紹介した。前回の全国会議(東京)で行われた「被災地の設備機器の被害報告」の第2弾で、今回は倒壊・落下などの設備被害について、その防止対策に重点を置いて事例発表が行われた。重量のある設備機器については、落下や転倒を防ぐため、吊りボルトの抜け止めや揺れ防止、床置物の下部固定+上部固定、天井吊り物の下方支えなどの補強、形状・規模の変更などさまざまな防止策が講じられた事例をスライドなどで紹介した。また、東日本大震災のこれら天井内設備機器の落下の危



各種の事例発表が行われた

険性とその対策を報じたNHK大阪放送局の番組もダイジェスト版として会場で放映された。

2つ目の事例発表は、日空衛・設備技術委員会の中村勉主査が設備機器工事に使用する「消耗品・小材料の選定と管理」について保管・利用上の留意事項などを説明した。この中では、各社が社内基準を設けて作成している一般的な施工要領書などにまとめられていない消耗品(支持材・シール材・コーキング材・補助材など)を取り上げ、各製品の特徴、使用方法、保管方法、施工上の注意点などを説明した。

このあと、官庁や関係団体からの来賓を交えて懇親会が催され、全国各地の需要動向、景況などについて活発な情報・意見交換が繰り広げられた。



懇親会で活発な交流が展開された

安全衛生大会を開催



平成25年度安全衛生大会を10月3日に大阪市西区の建設交流館8階グリーンホールで開催し、優良工事現場を表彰するとともに、安全講和を聴講し安全衛生・労働衛生を誓い合いました。

大会は、関係官庁や友好団体から多数のご来賓をお招きし、合わせて約160名が出席。最初に、業界でこの1年間に不幸にも事故などで亡くなられた方々に対して黙祷をささげご冥福をお祈りしました。冒頭挨拶で太田隆会長は、ご来賓に対し日頃のご支援に感謝の言葉を述べるとともに、

「建設業界に求められるのは、より一層の安全衛生管理、施工管理、品質管理の向上です。特に、労働災害を防止するためには、トップから担当者、労働者の一人ひとりが現地現物を確認し、機械設備の安全基準や作業手順などの基本的なルールを守ることにより、労働者の安全を確保して労働災害ゼロをめざしていく必要があります」と強調しました。さらに、太田会長は「会員の皆様方



挨拶する太田会長

は常日頃からこの基本的ルールを守ることにより、一層の安全衛生管理体制の強化、施工管理、品質管理の向上に努め、労働災害の絶滅と健康で明るく快適な職場づくりに邁進してこられました。その結果、本日多くの方々が、安全衛生及び品質に優れた事業所として栄えある表彰を受けられることとなりました。心からお慶び申し上げますとともに、深く敬意を表しま



「見えないところに気を配ることが安全対策の第一歩」と語る川村様



安全衛生優良事業所として26社を表彰

す」と挨拶しました。

続いて、大阪中央労働基準監督署の安全衛生課長・川村昌光様から安全講話をいただきました。安全講話で川村様は、「安全はその知識を与え、人をその気にさせること」が重要だと強調し、危険を見る目を養う次元の高い安全教育の実施を呼びかけました。川村様は、バブル経済崩壊後、真っ先にダメージを受けたリゾート産業の中で東京ディズニーランドが好調な業績を維持し続けているのは高いリピート率にあるとし、その根底には見えないところに気を配る『豊かな心を売る精神』があることを紹介し、「安全対策もこれと同じで、見えないところに気を配り、見えないところにひそむ災害の芽を摘み取ることが大切です」

と述べました。さらに、このKY活動（危険予知活動）については、災害の芽に順位をつけて重要なものから取り払うリスクアセスメント・マネジメントシステムの構築の必要性を訴えました。

このあと、安全衛生優良工事の表彰式に移り、稲岡栄治・安全労務専門委員が選考過程・結果を発表し、優良事業所26社を表彰しました。被表彰者代表が太田会長から表彰状を受け取り、同代表が『安全の誓い』を力強く読み上げました。このあと、参加者全員で『労働安全スローガン』『労働衛生スローガン』を斉唱して作業の安全を誓い、大会第1部を終了しました。

小休のあと、第2部として、早稲田大学国際教養学部教授の池田清彦様による特別講演が行われ



全員でスローガンを斉唱し安全衛生を誓う

ました。池田様は「ムシの眼 ヒトの眼～ヒトは騙し騙されて生きている～」と題して講演。各方面のマスメディアで評論家として活躍する一方、多元的な価値観に基づく構造主義生物学を提唱している同氏は、男女の思考の違いや人間の習性などに起因するさまざまな「騙し」のシーンを紹介

しながら「自然体で生きる」持論を展開しました。

最後に、若林尚史労務委員長が「労災の撲滅はわれわれの最大の責務であり、より一層安全意識の向上に努めていこう」と訴え、大会の幕を閉じました。



「自然体で生きる」と持論を展開する池田様



閉会の辞で安全を呼びかける若林労務委員長



表彰会社名 (26社)

㈱朝日工業社大阪支社	鳳工業 ㈱	木村工業 ㈱	九櫻設備工業 ㈱
㈱クドウエンジニアリング	斎久工業 ㈱大阪支社	三建設備工業 ㈱大阪支店	㈱三晃空調大阪本店
三神工業 ㈱	㈱精研	ダイクウ ㈱	大成温調 ㈱大阪支店
ダイダン ㈱大阪本社	西川設備工業 ㈱	㈱日設関西支店	日比谷総合設備 ㈱大阪支店
㈱一三工業所	㈱不二設備工業所	不二熱学工業 ㈱	㈱前田商会
㈱マサキ設備	丸住 ㈱	美和設備工業 ㈱	柳生設備 ㈱
㈱柳澤設備	若林設備工業 ㈱		

発注先別内訳 (18発注先26件)

近畿地方整備局	2件	大阪府住宅まちづくり部	2件
大阪市交通局	2件	大阪市建設局	1件
奈良先端科学技術大学院大学	1件	地方独立行政法人大阪府立病院機構	1件
八尾市建築都市部	1件	㈱NTTファシリティーズ関西事業本部	2件
独立行政法人情報通信研究機構	1件	大阪市都市整備局	4件
高槻市都市創造部	2件	国立大学法人大阪大学	1件
大阪市水道局	1件	大阪府教育委員会	1件
財団法人タウン管理財団	1件	堺市建築部	1件
国立大学法人大阪教育大学	1件	公立大学法人大阪市立大学	1件

第5回配管技能コンテストを開催

猛暑の中、43人が腕を競う

高校の部 田中 誠君が優勝

一般の部 生田一之氏が制す



当協会主催の第5回配管技能コンテストは8月24日(土)に東大阪市の大阪府立東大阪高等職業技術専門校(テクノセンター東大阪)で開催しました。

コンテストは、次代の優秀な技能者の育成をめざし開催しているもので、中尾弘昭理事をコンテストの実行委員長、佐々木恒己理事と布施工科高校・小倉一浩教諭(審査委員長)を副委員長とし、実行委員と青年部で構成する実行委員会が運営に当たりました。また、布施工科高校と東住吉

総合高校の多くの先生方が審査委員・審査補佐委員としてバックアップしていただき、テクノセンター東大阪や関連団体の関西配管工事業協同組合も会場設営などで協力をいただきました。今回から高校の部優秀者には大阪府知事賞が、一般の部優秀者には大阪府職業能率開発協会会長賞が授与されることとなりました。

開会式で挨拶に立った太田隆会長は「熟練技能工とその後継者不足が深刻な問題となっている中、全国でも当協会だけがやっているコンテスト



高校の部優勝・田中君(左)



一般の部優勝・生田氏(左)



水圧テスト/サイズ審査のもよう



高校の部上位入賞者(前列)



一般の部上位入賞者(前列)

上位入賞者は次の通り（敬称略）。

【高校生の部】

- 優 勝 田中 誠君（布施工科高校3年）
- 準優勝 清家 優馬君（東住吉総合高校3年）
- 3 位 辻本 尚輝君（布施工科高校2年）
- 4 位 平池 尚也君（布施工科高校3年）
- 5 位 右田 海斗君（東住吉総合高校2年）

【一般の部】

- 優 勝 生田 一之氏（榎豊新設備）
- 準優勝 原田 忠彦氏（東和管工株）
- 3 位 中尾 勝利氏（中尾設備）
- 4 位 浅野 清治氏（浅野設備）
- 5 位 宮田 雅公氏（榎ツカサ）

を通じて技能工、後継者の育成に寄与していく。今回から大阪府知事賞と大阪府職業能力開発協会会長賞が授与されることとなり、意義付けが一段と深まった」と強調し、関係者の運営協力にお礼を述べるとともに、競技者を激励しました。

コンテストには現場の第一線で活躍する技能者24人（一般の部）、建築設備関連の学科を履修中の東住吉総合高校、布施工科高校、彦根工業高校の生徒19人（高校生の部）の合わせて43人が参加。一般の部では1級配管技能士検定レベルの課題作品制作（制限時間3時間）に、高校生は同3級レベルの課題作品制作（2時間30分）に挑戦しました。

作品はサイズ誤差、出来映え、水圧試験による漏れ検査などで綿密に審査され、一般の部では豊新設備の生田一之氏が優勝、準優勝は東和管工の

原田忠彦氏が獲得しました。高校の部では布施工科高校の田中誠君が優勝し、東住吉総合高校の清家優馬君が準優勝となりました。

高校の部表彰式の審査講評で小倉審査委員長は「今回は全員が水圧試験をパスしたほか、ほとんどが技能検定の合格水準にあった。減点ゼロの人が優勝し、2位から5位は僅差だった」とハイレベルの競技になったことを報告しました。

表彰式に出席された大阪府商工労働部人材育成課課長補佐片山幸治様は、第5回を迎えるコンテストの取り組みを称賛し、府としても高校生の実業教育、中小企業の人材育成に取り組んでまいりたいと挨拶されました。

引き続き表彰に移り、片山幸治様から第1位に大阪府知事賞及びカップ、記念品が、また、中尾実行委員長から準優勝～5位の入賞者に賞状やカ

ップ、記念品が手渡されました。

挨拶に立った当協会の玖村信夫副会長は「猛暑の中、果敢に挑戦された」と競技者をねぎらう一方、「熟練の技能者とともに同じ会場で競技する中でモノづくりの素晴らしさと技能を身に付けることの大切さを感じていただいたのではなかろうか。それを生かしてほしい」と期待しました。東住吉総合高校の永井亘校長は「(競技時間の)2時間半は皆さんにとってこれからの飛躍のための貴重な経験の時間となろう。これを踏み台に大きく成長してほしい」と述べました。布施工科高校の阿部政之校長は「各種のコンテストではほんのちょっとしたミスが入賞を逃す。今回の競技で犯したミスを把握し、それを成長の糧にしまらう

と同時に、今日学んだものを後輩にも伝えてほしい」と述べました。

一般の部の表彰式で小倉審査委員長は「上位は接戦となった。また、今回はこれまでになく、全体に出来栄が非常によかった」と講評したあと、佐々木実行副委員長から上位5人に賞状、カップ、賞金が贈られました。玖村副会長は挨拶で「現場はここにおられる皆さんで支えられている。熟練工、後継者不足が顕著になっている中、このコンテストがその解消に役立つと思っている。賞を逃した人もまたリベンジしてほしい」と述べるとともに、コンテストの運営に携わった関係者にお礼を述べました。

コンテスト審査講評



小倉 一浩 審査委員長
(布施工科高校建築設備系)

一般の部

第5回配管技能コンテストが開催され、審査委員長を仰せつかり、無事終了しましたことを、大空衛の役員の方々、設営・買出し・駐車番など多方面でご尽力いただいた青年部の皆様、また御関係の皆様にお礼申し上げます。

今回も上位入賞の方々は、優れた1級技能士であることを、明らかにする方々でした。1級技能検定実技試験では見ることのできない、ハイレベルの作品が多く、今回も減点数がひとけたで収まる方が上位に入賞されました。優勝者の減点数

は、4点で第3回と同じでした(因みに第1回3点、第2回1点、第3回4点、第4回3点でした。)

優勝者の減点数は、4点であったが、寸法精度Iにかぎれば、優勝者と準優勝者の2名は減点数が2点で、昨年の優勝者に勝るものでありました。今年も僅差判定であり、準優勝と3位の差は寸法精度IIの小差であり、入賞の4位、5位は基準点が1点差で順位が決まり、以下6位から10位までは基準点2点差以内で順位が決定しました。11位に続く12位から15位もそれぞれ基準点は同点で、内規により順位をつけた結果となりました。

また、今回も水漏れした方にも、基準点が少ない方や、できばえ他の減点0点の方もおられました。水漏れ失格者の6名と欠席者1名、残念ながら未完成であった方1名の計8名を除く17位までの順序付けが今回の結果です。

今回特に感じたことの一つに、できばえ他の減点が少ない方が多くなったことが挙げられます。昨年は6点以上減点の方が8名おられましたが、今年度は1名となりました。昨年の講評では、



「銅管の接続箇所において、接合部のはんだ量のはみ出しが多く、部分ポイントや総合できばえの評価を下げる方が少なくなかった」と触れましたが、今回は、多くの参加者が零れたはんだをふき取り、綺麗な銅管を見せる技術を披露していただき、高校生に良いものを見せていただきました。昨年度の講評にお応えいただいた、一般の部に参加していただいた方々に改めて、お礼申し上げます。高校生と同じ場所で競技し、高校生に良い刺激を与えてくださり、ありがとうございました。

昨年に引き続き、このコンテスト優勝者若しは入賞者の「誉れ」が業界に浸透することを願っています。今回の優勝者には、大阪府職業能力開発協会会長賞が授与されたことは、誠に嬉しく思いますとともに、大阪空気調和衛生工業協会の皆様の熱意の結晶だと強く感じました。次年度以降もこのコンテストが引き継がれ、開催されることを楽しみにして、今後も微力ながらお手伝いできればと感じました。

————— 高校の部 —————

今回は、前回と違い欠席者が1名いましたが、19位まで順位がつきました。（昨年は13位まで「5名欠席、2名失格」）参加者全員が水漏れがなかったことは、第5回目の大会で初めてのことであり、昨年以上に各学校での練習の成果であると思われました。高校生には、大空衛、滋空衛の両協会からのご支援もあり、参加生徒の意欲の高まりとともに、良い作品が多くなった結果と思われました。技能検定で減点のポイントとなる寸法精度Ⅰが0点の生徒8名、1点の減点が4名と今年もより一層の激戦でありました。

3級技能検定にない銅管についても、各学校での練習の成果が見られ、ろう付けの垂れる程度も少ない生徒が多く見栄えも綺麗でした。

優勝者から上位5名は基準点が2点以内で、できばえの減点が1点で並んでいた2位から4位は、寸法制度Ⅱの差で順位が付きまして。また、基準点3点に8名が並び、採点基準に従って6位から9位、10位から12位と13位と順位が付けられました。基準点4点で14位と15位が採点基準により決まり、以下19位まで順位が決定しました。

また、13位の生徒の作品は、できばえの完成度が非常に高く、優勝者の作品と見た目には甲乙つけがたい素晴らしいできばえでした。19位の生徒作品も100mmちょうど間違っており、とても残念でした。8位と9位の生徒は、寸法精度Ⅱも同点であったので、審査委員会の取り決め通り、更なるポイント差により順位が決定しました。

ほぼ全員が参加でき、水漏れする作品がなかったことは、今回の最大の成果でありました。一般の積極的な参加者枠を減らしてでも高校生枠を確保してくださった大会主催者の方々に心よりお礼申し上げます。

高校生には、今年から優勝者に「大阪府知事賞」が贈られることになりました。高校在学中に「大阪府知事賞」を手にする事の嬉しさは、手に入れた生徒しか得ることのできない満足感と日が経てば更に増す気持ちの高揚感があると思います。大会主催者の方々にはお手数をおかけし、「大阪府知事賞」を贈っていただき、大阪府より課長補佐さまにも同席いただきましたことを合わせてお礼申し上げます。

高校生には、空衛協会さまより職人さんを派遣していただき事前練習会を持ちました。練習作品で自信を持った生徒はほとんど減点のない作品を仕上げる事ができていました。この経験を生かし、建築設備業界で技術者・技能者として、世の中の役に立つ人に成長することを願っております。

ありがとうございました。

配管技能コンテストに参加して（高校生）

優勝（大阪府知事賞） 田中 誠
大阪府立布施工科高等学校
建築設備系設備システム専科3年



布施工に入学し、陸上部に入り建築設備系設備システム専科への進級を決めました。そこで1年生の時に3級技能検定に挑戦し合格しました。2年生の夏には、第4回配管技能コンテストがありましたが、陸上競技の試合と重なってしまい、コンテストに出場できませんでした。年度末には、2級配管技能検定に挑戦するとともに、多くの方々から応援をいただいたので、「技能五輪全国大会」に参加したいと思い、大阪府予選にもエントリーしました。

放課後の練習の成果もあり、2級に合格し、また、職業能力開発協会より大阪府予選も通過し、大阪府の代表に決定した通知を受け、大変嬉しく思いました。

3年生になり、陸上競技を続け、第5回配管技能コンテストと陸上競技が重なっていなかったので出場を決定しました。当日は3年生が8人、2年生が3人でコンテストに挑みました。

日頃から、体力面ではクラブ活動を続け、課題研究でも配管練習を継続できたので、コンテスト対策用には2日間ですが、集中して練習しました。1日目は、主催者である大阪空気調和衛生工業協会さんから、ベテランの配管指導者を派遣してい

ただきました。講師で来校いただいたのは玉川さんと池成さんです。鋼管、塩ビ管、銅管とそれぞれの管の特徴から、接合部の注意点まで細かく丁寧という指導内容で、良く分かるように教えていただきました。2日目には、時間を図って自分だけでだれにも相談せずに作りました。細かな仕上げを除き、35分で作品はできました。充分余裕時間があったので、時間に関する自信は、とても余裕を持つことができました。

その当日、「技能五輪に出場する選手である」ことを、ご紹介していただきましたので、少し緊張しプレッシャーを強く感じました。しかしながら、それを不安感だけに感じることなく自信につながって、正確に確実に作り上げることができました。結果として減点なしで「優勝」することができました。

「優勝・大阪府知事賞」という経験をしたことがなかったので、すごく嬉しかったです。いろいろ教えていただいた先生方、玉川さん、池成さん、ありがとうございます。担任の先生や両親、クラスの仲間など多くの方々の期待に応えることができ、すごく良かったです。

みなさん、どうもありがとうございました。

準優勝 清家 優馬

大阪府立東住吉総合高等学校
住環境系列3年



私は、今回のコンテストに出場させていただいて、「本当によかったな」と思っています。最初は、就職活動もあるので出場すること自体に迷いがありました。そんなときに小池先生や浅岡先生から出場しないかという話がありました。私は、3年生の最後の思い出にもなると思い、出場の決心をしました。

いよいよコンテストに向けた練習が始まりました。夏休みを返上して、とても暑い中、練習を繰り返しました。特別に講師をしていただいている小池先生から、さまざまなテクニックを学び、なんとか制限時間内で正確に配管できるようになりました。

コンテストの日、前日よく眠れず睡眠不足の状態では会場に向かいました。緊張と不安の中、会場に入ると、思っていた以上の参加者がいて、「この中で私は、どこまで通用するのだろうか」と思いました。そんな中、先生方が「いつものようにやったらええんや」と励ましてくれて、とても落ち着いてきた気分になったことを覚えています。

開始の合図があり、作業を始めるとなぜか、今までの緊張や不安がうそのようになくなり、無心の状態になりました。私は、練習で習った通りの

作業をすることだけに、集中しました。すべての作業を終えると、一気に疲労感を感じて座り込みたい感じになりました。でもさわやかな気持ちで一杯でした。

結果発表で準優勝と聞かされ、本当に頭の中が真っ白になりました。嬉しいという気持ちよりも、驚きの方が大きかったことを覚えています。

最後に、こんな私を最後まで支えてくれた多くの先生方、一緒に出場した住環境系列のみんなに「ありがとうございます」と伝えたいと思います。

第3位 辻本 尚輝

大阪府立布施工科高等学校
建築設備系設備システム専科2年



僕は、1年生であった2月に行われた配管技能検定の3級を受検し、合格して3級配管技能士になりました。クラスで3名います。今回の配管技能コンテストに出場した2年生はクラスメイトです。3級技能検定では使用しない「銅管」の接続作業がどの程度できるか？ 不安もあり、自信はあまりありませんでした。

練習では、はんだ付けは、成功したり失敗したりと、本番ではどうなるか不安でした。クラブ活動の練習もあり、ちゃんと完成させられるのか不安でした。練習では、寸法もかなりずれていた



り、塩ビ管もうまく入らなかったこともありました。前日まで練習し、家では、寸法を間違えないようにしっかり頭の中で、寸法を出すことができるように、寸法を測るイメージトレーニングを行って就寝しました。

当日は、ミスをして完成させられず、恥をかくのが嫌でした。本番では、開始の合図とともに、落ち着いて作業ができました。丁寧に寸法を測り、一つひとつの作業をミスなくしっかり作業することに集中しました。出来上がってすぐに寸法を確かめ、今までで一番良い出来でした。でも正直入賞までの自信はありませんでした。しかし、3位で名前を呼ばれた時はとても「びっくり」しました。入賞者として前の椅子に座っている時、ずっとドキドキしていました。不安もあった配管技能コンテスト出場ですが、何回か練習し、出場できてよかったです。3位入賞は、とても嬉しかったです。

今回この配管技能コンテストで作業した経験を生かし、2級の技能検定にチャレンジし、2級配管技能士の資格を取得したいと思っています。

第 4 位 平池 尚也

大阪府立布施工科高等学校

建築設備系設備システム専科3年



私は、昨年も配管技能コンテストに参加させていただいたのですが、残念ながら入賞できず「第11位」という結果で、悔しい思いをしました。そこで今年は、昨年の失敗を参考にし、正確に速く作ることを心がけ、結果入賞できたので、大変良かったです。

私の所属するクラスでは、38名中30名が配管技能士3級の資格を持ち、10名の枠で7名の3年生枠を競い合い、校内選考の時点で激戦を突破した思いがありました。2級の配管技能士資格を持ち、技能五輪に出る田中君、西谷君はもちろんのこと、昨年度第3位に入賞した三上君、第5位に入賞した南君と強豪ぞろいでした。さらに他校生の欠席により補欠で出場した上杉君も2級の配管技能士資格を持つ強敵でした。他校生にも、毎年上位入賞者が多いので、私も入賞をめざして、野球部の活動が終わった後の夏休みは、悔いの残らないように配管の練習をしっかりとやりました。

直前の練習会では、時間を測り本番さながらの練習をしました。作品は完成しましたが、一番作業終了が遅かったので、コンテストではあまり自信が持てないまま当日を迎えました。

担任の先生を中心とした学校の先生方や関西配管工事業協同組合の玉川さん、池成さんも応援に来ていただき、練習で教えていただいた指導ポイントのことを、冷静に思い出して切断や接合手順などを判断することができました。

その結果が今回の入賞になったと思います。玉川さん、池成さんありがとうございました。今回一緒に参加した田中君や西谷君が技能五輪全国大会に出場するので、しっかり応援したいと思います。

私も卒業後は建築設備業界で設備の施工管理技術者をめざしています。皆様、どうもありがとうございました。

特別寄稿

コンテスト参加者 大阪府から高校生初出場

平成25年度 第51回技能五輪全国大会 参加報告 (幕張メッセ)

大阪府立布施工科高等学校 建築設備系 教諭 小倉 一浩

1. はじめに

日頃よりお世話になっています、大阪空気調和衛生工業協会さまには、今回ご報告をさせていただき、改めてお礼申し上げたいと思います。

今年で5回目を迎えた貴協会主催の「配管技能コンテスト」も本校を含めた、関係高校にはしっかり根付き、生徒の意欲も、出場し上位入賞できることを楽しみにして取り組んでいます。

そんな中で、2年生の冬に配管技能士2級に合格し、大阪府五輪予選を通過した2名の本校生が、第51回技能五輪全国大会に大阪府の代表として競技してまいりました。

2. 全国大会に参加して

11月12日には、大阪府選手団の激励会が咲洲庁舎で執り行われ、21日には開催地である、千葉県に向かいました。22日は午前中に準備・競技説明があり、午後には全体の開会式がありました。翌23日の当日は早朝より会場に入り、開始の合図を迎えました。

クラスメートや多くの先生方が記入してくれた、寄せ書きに見守られて、競技をする田中君、西谷君は、9時から12時までの午前中は、それ



競技する西谷君

までの練習以上の成果を見せて、2人とも順調に進みました。

昼食を取り、気持ちを引き締めて臨んだ2人でしたが、練習課題から今年度新たに工夫された箇所の手こずりました。20A銅管の45°エルボや通気管の接続箇所の違いなどですが、45°エルボを使用した方が銅管を曲げる作業が省け、楽になるのですが……。

想定外の違いに予想以上に手間取り、練習で発揮できていた自分の力を出すことが、如何に大変かを知ることができたようでした。

本校生の技能五輪への道のりは、1年生の時に技能検定3級を受検し、合格した生徒が、2年生の時に技能検定2級を受けると同時に、〈国競〉として技能五輪大阪府予選にも参加することから始まります。実技、実技ペーパー試験をともに合格した者の中から、今回は、取り組み姿勢や競技への意欲関心の度合いを関係者で協議し、2年生の2級合格者3名の中から田中君、西谷君の2名が大阪府代表に決定しました。

配管職種の技能検定3級の合格者数は、平成22年度31名、23年度27名、24年度29名であり、今年度は28名が受検する予定である。因みに2



海浜幕張駅で、左が西谷君で右が田中君

級は 22 年度 0/4 名、23 年度 2/5 名、24 年度 4/8 名が合格し、今年度は 14 名が 2 級に挑戦します。

技能五輪全国大会に初出場を果たしたが、分からないことも多く不安な門出でした。

そんな中、全国設備工業教育研究会の会員校である広島市立広島工業高校の環境設備科稲田信一郎先生に大変お世話になり、多いにご助言をいただきました。競技前日の抽選で本校田中君の隣が、偶然にも広島市工の上本君であった。競技終了後はお互いの健闘を讃えあい、思い出に残る交流の場となりました。



左が田中君、右が上本君

3. まとめ

大阪の建築設備系唯一の学科として、平成 17 年度に東住吉工業高校から受け継いだ流れを大切にしながらも、本校独自の建築設備系教育を模索し研究しているところです。

大阪にあるということで、貴協会のお陰をもちまして就職先に恵まれ、昨年度と今年度(11月末)の実績は、次のようになります。

＝24 年度＝

卒業生 34 名 学校紹介の就職 26 名
建設系 20 名+メーカー 4 名+その他 2 名
施工管理技術 13 名+専門工事技能 5 名+保守管理 2 名

＝25 年度＝

在校生 38 名 学校紹介の就職 26 名
建設系 24 名+メーカー 2 名
施工管理技術 17 名+専門工事技能 5 名+保守管理 2 名

学校の地域性から、大阪東部の東大阪市・八尾市を中とした地元「ものづくり」企業への就職を大前提とした学校ですが、大阪唯一の建築設備を学ぶことができる学校であることを誇りにし努力していきたいと思えます。

学校では、建築設備の技術者として世の中で役立つ人材を育む努力をしておりますが、貴協会の協力をいただいております技能検定や配管技能コンテストへの取り組みは、建築設備業界への第一歩として捉え、今後も継続してご支援をいただけるように、努めてまいりたいと思えます。まだまだ、これからですが今後ともよろしく願います。



競技後に役員とともに(2列目の左から6人目〈田中君〉、7人目〈西谷君〉)

平成 25 年度 安全パトロールを実施

須賀工業(株)大阪支社 石田 容章

奈良県立医科大学附属病院（仮称） 中央手術棟整備工事「機械設備工事」を巡回



平成25年7月23日（金）に平成25年度安全パトロールを別記のメンバーで実施しました。

安全パトロールは、当協会安全労務委員会行事の一環として工事現場の安全指導並びに安全労務委員相互の安全研修を兼ねて行っているものです。

巡回した奈良県立医科大学附属病院（仮称）中央手術棟整備工事作業所は、近鉄大阪線の和八木駅より南へ約1kmの近鉄橿原線の東側に位置し、奈良県立医科大学付属病院敷地内に増設される中央手術棟整備工事であり、大きく1期工事と2

期工事に分かれていて、今回は1期工事で、平成25年10月末の竣工に向け工事が進んでいました。

工事概要に記載していますが、まず1期工事は、平成23年初夏より既設建物内部の撤去・盛り替え建物を解体して、平成25年10月末に1期工事完成させたのち、現状の機能を1期完成建物に移し、2期工事において移した部分を解体し新しい建物を構築して平成28年の春にすべての工事が竣工という、長丁場の物件であります。

巡回メンバー

（一社）大阪空気調和衛生工業協会

◇安全労務委員

宮地 直人（(株)朝日工業社大阪支社）

稲岡 栄治（三機工業(株)関西支社）

河内 康泰（日比谷総合設備(株)大阪支店）

佐野 芳己（新日本空調(株)大阪支店）

石田 容章（須賀工業(株)大阪支社）

◇協会事務局

清王 政志（専務理事）



巡回メンバー

巡回した作業所の工事概要

- 工事名称 奈良県立医科大学附属病院（仮称）中央手術棟整備工事
- 工 期 1期工事 平成23年3月22日～平成25年10月31日
2期工事 平成25年11月1日～平成28年3月25日
- 工事場所 奈良県橿原市四条町840 奈良県立医科大学内
- 発注者 公立大学法人奈良県立医科大学
- 設 計 榎内藤建築事務所
- 監 理 奈良県土木部まちづくり推進局営繕課
榎内藤建築事務所
- 機械設備工事 須賀・精研・新世紀・沢特定建設工事共同企業体
- 電気設備工事 きんでん・松田電気特定建設工事共同企業体
- 建設工事 奥村組・森本組・森下組・松塚建設特定建設工事共同企業体
- 建築面積 2,898.99 m² (1期工事+2期工事)
- 延床面積 21,162.40 m² (1期工事+2期工事)
- 構 造 地下SRC造、地上S造
- 規 模 地下1階、地上7階、塔屋1階
- 建物用途 病院



巡回打ち合わせ



上空から見た建設現場

当日、巡回に先立って当社現場事務所において上谷所長より、工事の概要説明や現場工程、当日の作業状況、巡回ルートなど説明を受け、現場内へ7階まで仮使用のエレベータを使用し屋上から1階へと巡視を行い、地下階は床仕上中で巡視できませんでしたが、特に是正措置指摘事項等はありませんでした。

当日の作業は、主に4階から7階の天井の作業で作業員は34名であり、みなさん、安全作業に留意しての作業でありました。

毎朝、朝礼・TBM・KYはもとより、安全衛生責任者として毎日巡視を行い指揮監督しています。そして日々の巡視で是正処置があれば速やかに改善し、安全確保で優良施工に邁進して本日まで無事故無災害を継続しています。

特に、電動工具類は、持込時のチェックはもとより、月1回、絶縁抵抗計にて絶縁抵抗値を測定して、電動工具使用に伴う事故及び災害を未然に防止しています、そして加工場・資材置場及び作業場所周辺を常に整理整頓し、作業所関係者全員の安全確保と作業能率の向上を図ることを日々心掛けていくということでした。

また、熱中症が発生しやすい時期でしたので熱中症対策として、ペットボトルホルダーを作業員に配布し都度水分の補給ができるよう対策し、事



分電盤安全チェック

務所・詰所に熱中飴も設けられていました。

それと、建築J Vでは水噴霧付扇風機、ウオータークラー、製氷機等が設置され良好な熱中症対策だと感じました。

月1回の災害防止協議会では、各作業の事業主や職長を集めて、墜落転落災害、挟まれ・巻き込まれ災害等が起こらないよう指導し、他社等の災害事例等見せて同種災害を起こさないよう啓蒙等も行われています。また、TBM・KY活動はマンネリ化しないよう十分に注意し、特にKY活動は業種班別毎に行い、各作業に応じたもので行うよう指導されていました。

さし当たり平成25年10月31日の竣工に向けて、無事故・無災害で工事が完成されることを願ってパトロールを終えました。

今後2期工事に当たり、改修部分もあると思います、特に第三者（病院関係者・患者）災害を起こさないよう十分に配慮され、最終引き渡しまで長丁場ですが、無事故・無災害で工事が完成されることを願っております。

今回も安全研修として、適切な模範となる作業所巡回となり、巡回メンバー全員が納得し、レベルアップ並びに知識向上に役立ったと思っております。



平成25年度

職長・安全衛生責任者教育を実施



労務委員会は、11月28日、29日の2日間にわたり、大阪市中央区のエル・おおさかで職長・安全衛生責任者教育を実施しました。

安全管理活動の促進を図り、建設現場における危険ゼロを目指して、この職長・安全衛生責任者教育を実施しております。

日時 平成25年11月28日（木）、29日（金）9時～17時
会場 エル・おおさか
対象者 5年以上の実務経験者または事業主が職長の資格有と認めた方
修了者 32名
講師（敬称略）

（株）朝日工業社大阪支社	宮地 直人
三機工業（株）関西支社	稲岡 栄治
新日本空調（株）大阪支店	佐野 芳己
須賀工業（株）大阪支社	石田 容章
日比谷総合設備（株）大阪支店	河内 康泰



活発にグループ討議



宮地講師



稲岡講師



佐野講師



石田講師



河内講師



最後にまとめの発表

◇職長・安全衛生責任者教育カリキュラム◇

第1日目

時 間	教 育 内 容	講 師
9:00~9:10	オリエンテーション	清王専務理事
9:10~10:00	職長・安全衛生責任者教育を始めるにあたって 第1章 職長・安全衛生責任者の役割(第1~2節)	宮地直人
10:00~10:10	(休 憩)	
10:10~10:50	第2章 作業員に対する指導及び教育の方法(第1~2節)	佐野芳己
10:50~12:00	第3章 危険性又は有害性等の調査と低減措置等(第1節~3節)	稲岡栄治
12:00~13:00	(昼 食)	
13:00~15:10	第3章 危険性又は有害性等の調査と低減措置等(第4節)	佐野芳己
15:10~15:20	(休 憩)	
15:20~17:00	第4章 職長・安全衛生責任者が行う安全施工サイクル(第4節)	河内康泰

第2日目

時 間	教 育 内 容	講 師
9:00~10:15	第3章 危険性又は有害性等の調査と低減措置等(第5~6節) 第4章 職長・安全衛生責任者が行う安全施工サイクル(第1~3節)	河内康泰
10:15~10:25	(休 憩)	
10:25~11:50	第4章 職長・安全衛生責任者が行う安全施工サイクル(第5~8節)	石田容章
11:50~12:50	(昼 食)	
12:50~13:50	第4章 職長・安全衛生責任者が行う安全施工サイクル(第9~13節)	石田容章
13:50~14:00	(休 憩)	
14:00~15:00	第5章 関心の保持と創意工夫を引き出す方法(第1~3節)	宮地直人
15:00~15:10	(休 憩)	
15:10~16:40	第6章 異常時、災害発生時における措置(第1~4節)	稲岡栄治
16:40~17:00	閉講	

経営委員会

「消費税」「補助金」講習会開催

消費増税が予定されているほか、近年、省エネ関連の各種補助金が制度化されていることから、協会では9月19日に大阪市中央区のシティプラザ大阪で「直面する消費税の問題及び公的補助金活用について」と題した講習会を開催しました。

講習会には約80名が出席。初めに経営委員長である塩谷眞富理事が「東京オリンピックの開催が決定するなどいろいろチャレンジする機運が高まっている。当協会も時代の変化に対応した情報を会員の皆様に発信していくことを心がけているが、今回、一般社団法人建設業情報管理センターのご配慮によりタイムリーな話題をテーマにした講習会を開催することができた」と挨拶しました。

講習会は2部構成で行われ、公認会計士で税理士の井村登氏が「改正消費税と経過措置」、ダイダン・開発技術本部環境技術部ソリューション課の宮本俊也課長が「公的補助金の種類と活用法」と題して講演しました。

消費税については、消費税率改正の影響や留意



井村講師

宮本講師

いて説明が行われました。補助金の実施スキームは、政府の定めたエネルギー施策実施のため、政府の委託を受けた団体が地方公共団体や民間企業に対し技術導入に向けた費用を支援する制度——と説明されました。また、近年の省エネ工事・E



挨拶する塩谷理事



点をはじめ「施工日前後の取引での税率の適用関係」、「工事の請負契約での税率の適用範囲」などについてQ&A形式で事例紹介を交えながら説明が行われました。

公的補助金については、省エネ補助金の主な枠組みとその目的、補助金事業の申請要件などにつ

SCO関連では環境共生イニシアチブ（S I I）が主に審査・交付を行っており、このほか、建築研究所、都市ガス振興センター、新エネルギー導入促進協議会、環境省、文部科学省の管轄の補助金もある——とし、その補助金の種類や活用方法の概要が説明されました。

青年部会 営業実務研修会を開催

テーマ —— 「最近の建設産業政策」 「アベノミクスと国土強靱化」

協会青年部会（部会長草田有毅氏）は9月6日午後3時から5時まで大阪市西区の建設交流館で営業実務研修会を開催し、国土交通省の担当官から「最近の建設産業政策」について講義を受けるとともに、経済専門家からアベノミクスによる経済情勢を学びました。

研修に先立ち挨拶に立った草田部会長は「青年部会は迅速な行動力と柔軟な発想で有意義な活動を行っていききたい。会員相互の研鑽を図るためのこの研修で今後の営業で役立つ知識をぜひ吸収してほしい」と述べました。



講義する白川様

講義する國定教授

研修では、まず、国土交通省近畿地方整備局建政部建設産業課の課長補佐・白川信之様から最近の建設業をめぐる情勢と建設産業施策について講義していただきました。白川様は、建設業就業者の年齢構成について他の産業や全産業平均からみて突出して高齢化し、入職者に占める若年層（24歳以下）は製造業の半分程度である現状を



示し、多角的な手立てで若者の入職者を増やすことに注力していると述べました。

その中の重要なものとして「社会保険加入促進計画」を実施していることに触れ、元請による下請企業への指導など協力を要請しました。保険未加入者をなくするとともに、公共工事設計労務単価の引き上げとその浸透などで建設労働者の待遇改善に引き続き取り組み、労働者の不足に対処していく考えを示しました。

このあと、阪神タイガースの熱狂的ファンとして知られ、「虎エコノミスト」の異名をとる大阪学院大学教授・國定浩一様から「アベノミクスと国土強靱化について」と題した講義をいただきました。國定教授は「景気は確実によくなっているし、これからもよくなる」と強調する一方、阪神チームや野球にまつわる面白いエピソードやユニークな企業の取り組みなどを披露して会場の笑いを誘いました。この中で國定教授は中小企業が生き残り、発展するキーワードとして「ITの活用が絶対条件」、「本業かそれに近い分野で従来にないアイデアを生み出す力」、「実行と持続」などをあげました。

研修を終えたあと、懇親交流会を催し、活発に情報交換をしました。

官公庁との懇談会開催報告

国土交通省近畿地方整備局

営繕部整備課 懇談会

(一社) 日本空調衛生工事業協会近畿支部経営委員会は、平成 25 年 12 月 3 日、国土交通省近畿地方整備局営繕部整備課との懇談会を開催した。第 11 回となる今回は、法定福利費の扱い、保険未加入対策等について意見交換が行われた。また、懇談会に先立ち、近畿地方整備局営繕部 青木営繕品質管理官より、営繕工事における不調・不落対策について説明があり、意見交換がなされた。



日 時 平成 25 年 12 月 3 日 (火) 14 時～

場 所 シティプラザ大阪 4 階 優の間

出席者 (敬称略)

国土交通省近畿地方整備局営繕部 設備技術対策官 城戸久義

営繕品質管理官 青木一宏 整備課課長補佐 雨堤 健

日本空調衛生工事業協会近畿支部 経営委員会

大阪府＝塩谷眞富、安原和利、中井 誼〈事務局〉清王、井上

滋賀県＝大崎裕土、内田善嗣 京都府＝山本行雄

奈良県＝阪田文彦、壱岐隼人 和歌山県＝坂東信幸、東 守

大阪府住宅街づくり部

公共建築室設備課 懇談会

(一社) 大阪空気調和衛生工業協会は、平成 25 年 11 月 18 日に大阪府住宅まちづくり部公共建築室設備課との懇談会を開催した。席上、法定福利費の扱い、保険未加入対策、登録基幹技能者配置の評価等について意見交換がなされた。



日 時 平成 25 年 11 月 18 日 (月) 14 時～

場 所 シティプラザ大阪 4 階 奏の間

出席者 (敬称略)

大阪府住宅まちづくり部公共建築室設備課 課長 田邊陽一、

課長補佐 浅川浩一、課長補佐 松尾博司

大阪空気調和衛生工業協会

副会長 近藤 徹、副会長 城口俊雄

経営委員会は〈委員長〉塩谷眞富、〈副委員長〉安原和利、〈委員〉中井 誼

各委員会＝〈総務委員長〉前田隆司、〈広報委員長〉木村之彦

〈技術委員長〉中尾弘昭、〈労務委員長〉若林尚史

〈事務局〉清王、井上

第40回野球大会

第一工業(株) 初優勝

優勝	第一工業(株)大阪支店	準優勝	斎久工業(株)大阪支社
第3位	三機工業(株)関西支社	第4位	浦安工業(株)大阪支店

最優秀選手賞 大八木謙吉選手 (第一工業(株)大阪支店)

敢闘賞 神藤 晃太選手 (斎久工業(株)大阪支社)

第40回野球大会は、10月8日、10日、11日の3日間にわたり舞洲運動広場で開催されました。20チームでの熱戦が繰り広げられた結果、第一工業(株)が見事初優勝を遂げました。

開会式で、太田隆会長は、「この野球大会は当協会の重要行事と位置付けております。有意義な大会となりますようお願いしています」と挨拶しました。

川崎設備工業(株)西部支社の大木智史選手が「全力を出し切ることを誓います」と選手宣誓の後、白熱した試合が続きました。11日の閉会式では、玖村信夫副会長より初優勝を遂げた第一工業(株)チームへ優勝旗と表彰状が授与され、続いて2位、3位、4位のチームへカップなどの授与が行われました。また、(株)日刊建設通信新聞社中野隆久取締役関西支社長から優勝・準優勝チームへ盾の授与が行われました。

今大会も、審判及び青年部会の皆様による進行・運営により円滑に進み、無事終了することができました。関係各位に感謝申し上げます。



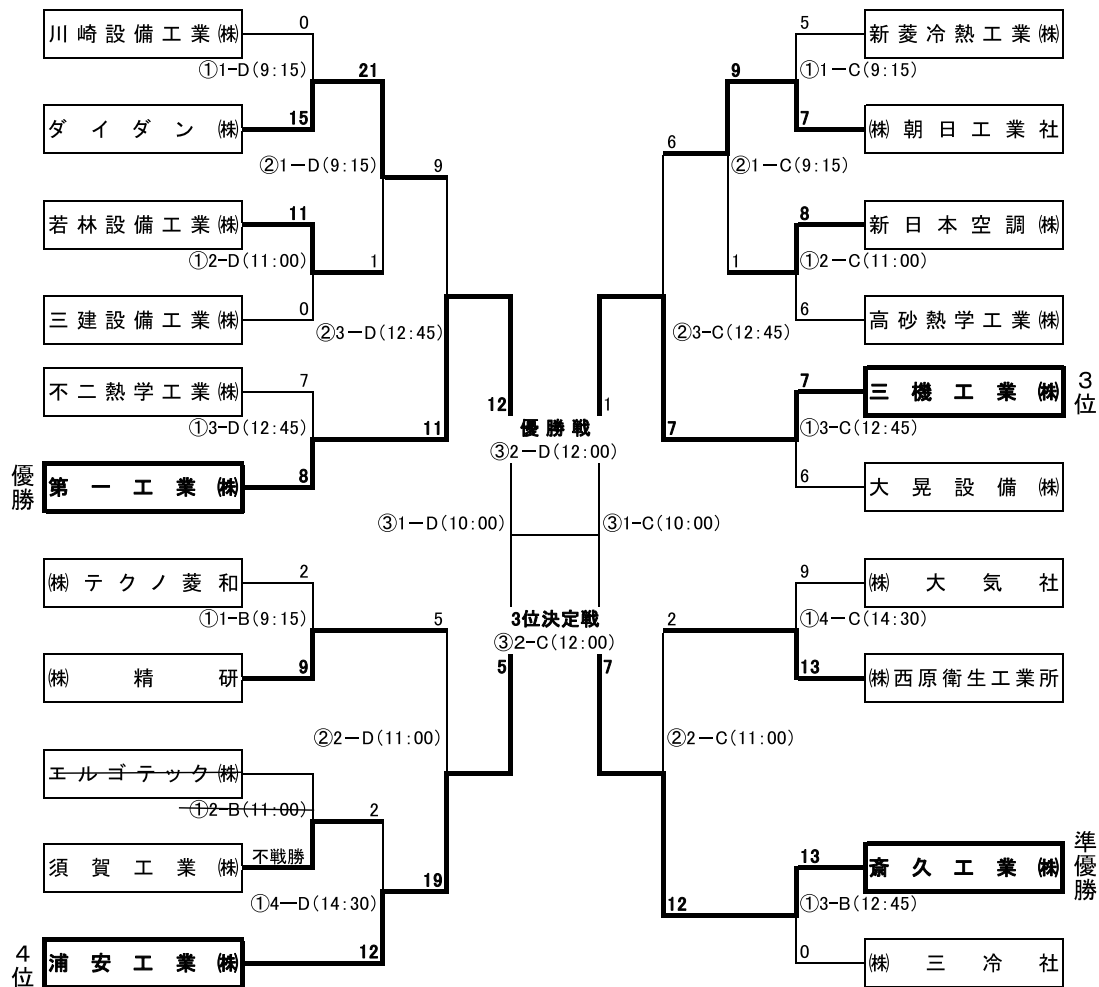
太田会長による始球式





初優勝を飾った第一工業(株)チーム

第40回野球大会組合せ表



① 10月8日(火)
② 10月10日(木)
③ 10月11日(金)

決勝戦		
第一工業(株) 優勝 12	VS	斎久工業(株) 準優勝 11
3位決定戦		
浦安工業(株) 4位 1	VS	三機工業(株) 3位 18



準優勝・斎久工業(株)チーム



第3位・三機工業(株)チーム



最優秀選手賞・大八木さん



敢闘賞・神藤さん

観戦記 決勝戦

第一工業(株) VS 斎久工業(株)

(株)西原衛生工業所 七條 茂樹

決勝戦は、これまでの3試合を32得点、3失点(13-0、12-2、7-1)、2コールド勝ちと圧勝で勝ち進んできた斎久工業と、こちらも勝るとも劣らない強力打線の31得点、21失点(8-7、11-9、12-5)と豪打で強豪を破って勝ち進んできた第一工業。

両チームの先発バッテリーは、第一工業が森中-三野、斎久工業が神藤-岩室となった。斎久工業の先攻で試合がプレーボール、両投手とも制球が良く、それに加えて球威があり、両捕手はそれに負けないくらいの強肩であり、投手戦が予想されたが、さすが強打同士の対戦、予想外に最後まで手に汗握る打撃戦となった。

1回表、斎久工業の攻撃、第一工業先発森中

は、立ち上がり先頭打者を切るも、制球が乱れ3四球。このチャンスを見逃さず、6番打者新谷がセンター前に2点タイムリーヒットを放ち先制。(2-0)

1回裏、第一工業の攻撃、斎久工業先発神藤も同様の立ち上がり、2四球から、4番打者中原の右中間タイムリーヒットで1点を返す。(2-1)

2回表、斎久工業の攻撃、9番打者谷口、2番打者嘉治本の2本のヒットなどで満塁とし、3番打者仲尾、4番打者岩室の連続2点タイムリーヒットで4点を追加し、突き放す。(6-1)

2回裏、すぐに第一工業が反撃、2者が出塁後、2死から2番三野が右中間へ3ランホームランを放ち、2点差に追いつける。(6-4)

3回裏、さらに第一工業の攻撃、この回先頭の4番打者中原、5番打者松岡、6番打者大八木の3連打で無死満塁となり、7番打者吉平のライト前タイムリーヒットで1点差とし、8番川久保のライト前2点タイムリーの5連打で一挙に逆転した。

1死後、2番打者三野のライト前タイムリーヒ



玖村副会長から優勝旗を受ける
第一工業(株)チーム代表

ット、3番打者森中のセンター前タイムリーヒットでさらに2点を追加、この回打線が爆発、7安打で5点をゲットし、試合をひっくり返した。

(6-9)

4回表、斎久工業も黙っていない。1死後、四球で出た走者を仲尾、岩室、緒方のクリーンナップの3連打で1点を返し、押し出しなどでさらに2点を加え、この回3得点で同点とした。(9-9)

5回表、斎久工業の攻撃、2番打者嘉治本の2塁打の後、4番打者岩室がライト前へタイムリーヒットを放ち、終盤で1点リードする。(10-9)

6回裏、第一工業の攻撃、失策絡みで同点に迫り着き、最終回へ。(10-10)

最終回9対9の同点で迎えた7回表、斎久工業の攻撃、野球は2アウトからとよく言うが、2死無走者から3番打者仲尾がセンターオーバーの3塁打で出塁、これを主砲岩室がこの日4安打、4打点目となるタイムリーヒットで1点勝ち越し、斎久工業は1点をリードして7回裏の最後の守りに着く。(11-10)

7回裏、第一工業の攻撃、失策などで2人が出塁し、その走者を6番打者大八木が逆転サヨナラ2点タイムリーツーベースで返し、第一工業の逆転サヨナラ勝ちで、劇的な試合に幕を閉じた。

(11-12×)

大会開催は3日間で、途中1日は雨天順延となり、中休みもありましたが、選手の皆様、特に投手、捕手の方は、ほんとうにお疲れ様でした。

決勝戦は、12対11の打撃戦となりましたが、守備面も固く、四死球も少なく、これぞ決勝戦という

締まった試合でした。MVPは、試合を決めるサヨナラヒットを放った第一工業の大八木さん、敢闘賞は、投打で決勝戦までチームを引っ張った神藤さんが選ばれました。おめでとうございます。

観戦記 3位決定戦

浦安工業(株) VS 三機工業(株)

鳳工業(株) 岸田 佑介

天気は快晴の中、第40回大阪空気調和衛生工業協会野球大会も最終日を迎えました。

悔しくも決勝進出を逃した2チームが最後の力を振り絞り3位をかけて戦います。

対戦は毎大会上位常連の白のユニフォームの三機工業対猛打打線で結果を残してきた黒のユニフォーム浦安工業のカードとなりました。

1回浦安工業の攻撃でプレーボールすると、三機三井投手の好投で浦安工業打線の攻撃をきっちり0点で抑えると、その裏の三機工業の攻撃、初回から打線が爆発し長打、短打で加点し打者一巡のビックイニングを作り、一挙10得点を挙げ大きくリードする。

2回も三機工業打線は手を緩めず、3番有木、5番藤原選手のホームランなどで6点を追加し試合を決定づける。

3回表浦安工業も2アウトから玉谷選手の安打を気に、3塁2塁とチャンスを作るも、もう1本が出ずスコアボードに0が続く。

4回裏、三機工業が2点を追加し、5回表の浦安工業の攻撃。八代選手の1塁線に強烈な打球を放ち一矢報いるが万事休す。結果18-1にてゲームセット。

ユニフォーム通り勝敗が付き、三機工業が見事3位となる結果でした。

平成 25 年度 大空会ゴルフ大会

森内氏が優勝



太田会長による始球式



太田会長から優勝カップを受ける森内様（左）

11月15日（金）に、奈良県の飛鳥カントリー倶楽部で、51名が参加して、恒例の大空会ゴルフ大会（第9回）が開催されました。

当日はあいにくの雨にもかかわらず、熱戦が繰り上げられました。試合結果は次のとおりです。

§ 試合結果 § （敬称略）

- ◇優勝 森内 啓治（須賀工業株大阪支社）
 - ◇準優勝 植田 篤史（鳳工業株）
 - ◇第3位 前田 典宏（浦安工業株大阪支店）
 - ◇ベストグロ賞 藪本 繁明（大熱工業株）
- （アウト 43 イン 40 グロス 83）



表彰式を兼ねた食事会で和やかに歓談

平成25年度ボウリング大会

団体戦で三機工業(株)関西支社チーム優勝

恒例のボウリング大会が11月27日(水)、桜橋ボウルで開催されました。今回は22チームでの戦いとなり、団体戦(チームは1社3名・男女不問で結成、女子は1ゲームにつき30点のボーナス点加算)は、三機工業(株)関西支社が見事優勝しました。

個人戦(女子ボーナス点加算)では、渋谷和彦様(株)三晃空調大阪本店)が優勝しました。

§ 試合結果 § (敬称略)

◇団体戦

優勝	三機工業(株)関西支社	1496ピン
準優勝	川崎設備工業(株)西部支社	1418ピン
第3位	(株)精研	1389ピン

◇個人戦

優勝	渋谷 和彦 (株)三晃空調大阪本店	524ピン
準優勝	黒田麻衣子 (大成温調(株)大阪支店)	523ピン
第3位	有木 高弘 (三機工業(株)関西支社)	515ピン

◇ハイゲーム賞

男性	山田 駿 (柳生設備工業(株))	204ピン
女性	黒田麻衣子 (大成温調(株)大阪支店)	159ピン



優勝・三機工業(株)チーム



準優勝・川崎設備工業(株)チーム



第3位・(株)精研チーム



表彰式のもよう

4 団体協議会開催

「社会保険加入対策」で 意見・情報交換



第14回会議風景

当協会と関西配管工事業協同組合（配管工事団体、理事長斉藤昭一氏）、近畿空調工事業協同組合（ダクト工事団体、理事長増田岳史氏）、近畿保温保冷工業協会（保温保冷工事団体、会長細見義征氏）で構成する4団体協議会の第13回会合が8月5日、第14回会合が11月25日にそれぞれ当協会事務局会議室で開かれ、13回会合では国土交通省の指導で取り組まれている建設業界の「社会保険加入促進対策」と「建設技能者の賃金情勢」について意見・情報交換しました。14回会合では「ダクト技能者」と「保温保冷技能者」のコンテストが実施できるかどうか話し合ったほか、社会保険未加入対策の進捗状況で情報を出し合いました。

13回会合では、まず、当協会側から大阪府職業能力開発協会の「ものづくりマイスター認定」の資料を配付し協力を要請しました。この制度は今年度開始されたもので、技能訓練に関する助成制度は今後拡充されるとみられています。申請受け付けは大阪府職業能力開発協会が毎月行っており、当協会としてもできるだけ多くの方がこのマイスター認定申請をされることを期待しています。

次いで、保険未加入対策の大阪府の対応方針について情報を交換しました。この中で、①平成25年11月から大阪府が発注する全工事の案件ごとの入札参加資格に社会保険加入を設定②平成26年度から全工事の全下請負者の社会保険加入状況を確認し未加入者は保険担当部局に通報する——の大阪府の施策が報告されました。

一方、保険加入促進に欠かすことができない「法定福利費を明記した見積書」についても話し合わせ、国交省が各団体に対して法定福利費を明記した標準見積書の提出を求めており、近く各団体から一斉に提出されることから「その動向を注視して対応する」という意見で一致しました。「基本的には、消費税率と同様に法定福利費の外出し方式となると思われる」、「国交省関東地方整備局発注の土木工事では法定福利費の内訳を明示した標準見積書に対して満額が支払われるという事例も出ている」などの情勢が報告されました。

建設技能者の不足はこれから深刻になってくると思われます。一旦不足する状況になると、それを回復するには相当の年数を要しますが、これま

で、ダンピング受注を繰り返すことで職人の賃金が低下し、公共工事労務調査でその低い賃金を市場価格として捉え、公共工事の労務費を毎年切り下げてきた国の方策にも問題があり、そこから若年技能者が他業種に流れるという悪循環を生んできたといえます。この教訓を踏まえ、「今後、正当な賃金の確保に向けて国及び地方自治体がさらに踏み込んだ施策を講じてほしい」——などの意見が大勢を占めました。

14回会合では、これまで開催してきた配管技能者のコンテストをダクト工事、保温保冷工事でも実施できるかどうか、大空衛側から両工事団体へ打診しました。ダクトについては、「コンテストの形にするのが難しい」、「現在、ダクト製作はほとんど工場で機械製作されており、現場でダクトを製作する機会がきわめて少ないため、高度な技能を持つ技能者が少ない」などの意見が出され、即実施は困難という見方が示されました。ただ、「学生などに見てもらおうためのショー的な催しは意義がある」、「一度、技能士の受検会場を見学してほしい」などの意見がありました。

保温保冷団体からは「1級技能士レベルのコンテストは高校生では難しいが、レベルを下げれば可能かもしれない」、「配管などに比べ、技能士そのものが少ないので、コンテストが実施できるとしても数年に一度くらいになる」などの状況が説明されました。こうしたことから、ダクト、保温保冷の技能コンテストの即実施は無理で、今後、技能士検定試験などを見ながら実施の可能性を模索していくこととしました。

また、保険未加入者対策問題については、第13回会合以降の進展状況などで情報交換しました。この中で、「平成26年度に受付する（平成26年11月から）平成27・28年度大阪府競争入札参加資格審査申請（定期受付）から、申請に必要な資格として社会保険の加入を条件とする」とする大阪府の施策が報告されたほか、一般情勢として、「平成26年4月から法定福利費を明記した見積書（標準見積書）を使うことになる」という話が出されました。

告知板



賛助会員募集のご案内

地球温暖化対策が求められる中、空調衛生設備へのニーズは変化・拡大しております。特に「環境問題」という新たな分野への取り組みは当協会と各メーカー、代理店の皆様と連携した研究開発が重要となってまいります。このような状況を踏まえ、当協会では賛助会員の募集を行っております。

賛助会員にご入会されますと、当協会において技術開発、製品開発の発表の場が持てるとともに、新年交礼会や総会後の懇親会などの交流の場にご参加いただけます。多くのメーカー、代理店各位のご入会をお待ちしております。

賛助会費 1社月額 4,000円

会費納入 入会年度の会費は入会月から翌年3月末までの期間分を入会時に納入(4,000円×3月までの月数)

以後は年額(48,000円)を上半期と下半期に分け、上半期は6月末、下半期は12月末に納入

入会手続 協会事務局までご連絡ください。入会申込書を送付いたします。

募金活動で日赤から表彰される

会員・賛助会員の皆様からご支援いただいております当協会の募金活動が評価され、日本赤十字社大阪府支部から表彰されました。

11月20日(水)、NHK大阪ホールで開催された平成25年度大阪府赤十字大会にて表彰状が授与され、当協会経営委員長である塩谷眞富理事(ダイダン(株)大阪本社)が代表して受領しました。



日赤から授与された表彰状

今後の行事予定

開催日	行 事	場 所
2月20日(木)	(一社)日本空調衛生工事業協会近畿支部会	シティプラザ大阪
4月3日(木) 4日(金)	新入社員研修	電設健保センター
5月15日(木)	当協会第41回通常総会	リーガロイヤルホテル大阪

協会発行図書案内

発行日

施工時にできる空調設備省エネ手法

平成22年11月30日

編集：協会・技術委員会 規格：A 4判 93頁 価格：2,800円(送料別)
内容：最近の動向をふまえ、施工段階及び計画段階等における省エネ手法のまとめ

給排水衛生技術者のメモ・ノート

平成22年3月31日

編集：協会・技術委員会 規格：A 4判 106頁 価格：2,800円(送料別)
内容：新材料・新工法の紹介や施工の失敗例及び専門用語や工法等の解説

空気調和設備の不具合 - 不具合例 原因と対策 -

平成14年9月10日

編集：協会・技術委員会 規格：A 4判 147頁 価格：1,400円(送料別)
内容：空調設備のトラブル事例とその対策・チェックポイント

間違い易い給排水衛生設備工事 - 知ってるつもりが……生兵法けがのもと - 平成14年9月10日

編集：協会・技術委員会 規格：A 4判 93頁 価格：1,100円(送料別)
内容：給排水衛生設備工事のトラブル事例とその対策・チェックポイント

給水・排水・浄化槽・消火設備の申請・届出マニュアル

平成11年7月31日

編集：協会・技術委員会 規格：A 4判 107頁 価格：800円(送料別)
内容：法規の概要、届出書類一覧、フロー、申請書様式・書き方

空気調和設備の申請・届出マニュアル

平成11年7月31日

編集：協会・技術委員会 規格：A 4判 93頁 価格：1,200円(送料別)
内容：法規の概要、届出書類一覧、届出の解説・書き方

配管系のトラブル事例集 …空調設備・給排水衛生設備編…

平成8年11月30日

編集：協会・技術委員会 規格：B 5判 152頁 価格：1,300円(送料別)
内容：トラブルの事例をもとに原因・対策・チェックポイント

お申込は、いずれもホームページまたは事務局までご連絡下さい。

平成 26 年度

初 級 技 術 者 の た め の 基 礎 知 識 研 修 会 受 講 ガ イ ド

主 催 公益社団法人 空気調和・衛生工学会近畿支部

協 賛 一般社団法人 建築設備技術者協会近畿支部〈予定〉

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

一般社団法人 電気設備学会関西支部〈予定〉

開 催 日 平成 26 年 5 月 12 日（月）～ 5 月 16 日（金）

場 所 エル・おおさか（大阪府立労働センター）6 階 606 号室

大阪市中央区北浜東 3-14 （TEL:06-6942-0001）

定 員 70 名（申込み順で、定員になり次第締め切ります）

受 講 料 1) 全講座・受講 （会員）30,000 円 （非会員）40,000 円

2) 空調・受講／給排水・受講 （会員）20,000 円 （非会員）25,000 円

※当協会より受講申し込みの場合は会員価格となります。

いずれもテキスト代を含みます。なお、テキストは受講を前提にしてお渡ししていますので、テキストのみの販売は行っていません。

テキスト パート毎に担当講師作成の資料を受講者に当日お渡しします。

受講内容には計算を伴う演習がありますので電卓を用意してください。

申込締切 平成 26 年 4 月 24 日（木）

申込方法 下記の事務局までメールにてお申し込みください。

受講料のお支払いは銀行振込でお願いします。銀行振込先は次の通りです。

振込手数料は、申込者にてご負担下さい。

振込先：三井住友銀行 備後町支店 普通預金 0111689

公益社団法人 空気調和・衛生工学会

受講票及び会場案内を郵送でお送りいたします。

受講料は払戻しいたしませんので、当日参加できない場合は代理参加も可能です。

詳細は、下記の工業協会事務局まで お問い合わせください。

申 込 先 一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-6-14

朝日生命辰野ビル 2 階

電話 06-6271-0175 FAX 06-6271-0177

Email : inoue-a@tenor.ocn.ne.jp

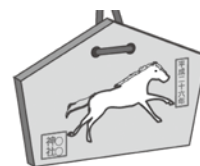
基礎知識研修会カリキュラム

区分	日程	時間	題目・講師・所属（講師は変更になることがあります）
共通	5月12日(月)	9:30～11:00	建築設備の知識 / 弓崎 幸治 / (株)東畑建築事務所
		11:10～12:30	電気の知識 / 西尾 徹 / (株)きんでん
		13:30～15:30	設備図面の知識 / 梅村 俊輔 / (株)日建設計
		15:40～17:40	施工と安全管理 / 川端 幸一 / ダイダン(株)
給排水	5月13日(火)	9:30～12:30	給水・給湯設備 / 加川 一郎 / 須賀工業(株)
		13:30～15:30	衛生器具設備 / 塚田 秀敏 / TOTO(株)
		15:40～17:40	消火設備 / 渡具知善治 / (株)城口研究所
	5月14日(水)	9:30～12:30	排水・通気設備 / 森嶋 章浩 / (株)西原衛生工業所
		13:30～15:30	排水処理設備 / 大屋 雅英 / (株)西原ネオ
		15:40～17:40	配管と材料 / 曾我部峰幸 / (株)三晃空調
空調	5月15日(木)	9:30～11:00	室内環境 / 甲谷 寿史 / 大阪大学
		11:10～12:30 13:30～15:00	空調負荷 / 千原 崇 / 三機工業(株)
		15:10～18:00	空調・換気設備 / 辻 晴亮 / 三機工業(株)
	5月16日(金)	9:30～12:30	湿り空気線図 / 谷口 勝則 / (株)昭和設計
		13:30～16:00	熱源設備 / 吉田 岳 / 新日本空調(株)
		16:10～17:40	排煙設備 / 山崎 秀男 / (株)朝日工業社

受講の組合せは下記の通りとなっています。各コースから一つを選んで下さい。

受講コース名称	共通 (5月12日)	給排水 (5月13・14日)	空調 (5月15・16日)
全講座	○	○	○
給排水	○	○	×
空調	○	×	○

2014年



迎 春

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会会員 (88社)

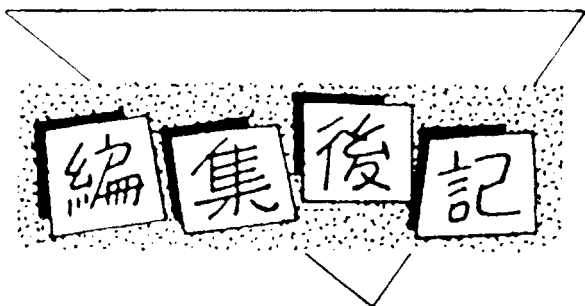
会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
赤井設備工業(株)	稲田 稔	(株)三晃空調大阪本店	文田 秀夫
(株)朝日工業社大阪支社	中尾 弘昭	三神工業(株)大阪支店	八坂 巖男
(株)上杉工業	上杉 邦雄	三宝電機(株)	前阪 利夫
浦安工業(株)大阪支店	屋敷 直幸	(株)三冷社西日本支社	生島 清好
(株)江坂設備工業	中村 昭一	(株)JR西日本テクシア大阪支店	村上 茂夫
エルゴテック(株)大阪支店	松村 浩行	敷島煖房工業(株)	松本 光庸
オーディーエー(株)	織田 守彦	四國機械設備(株)	曾我 幸二
(株)大阪城口研究所	城口 俊雄	島設備工業(株)	山戸 保彦
鳳工業(株)	堀部 泰三	主計管工(株)	中井 主蔵
奥田商工(株)	奥田 孝子	城陽ダイキン空調(株)	澄川 秀幸
カクイチ(株)	角谷 泰章	(株)城口研究所関西支店	渡具知善治
影近設備工業(株)大阪支店	大前 浩志	新日本空調(株)大阪支店	早田 茂
川崎設備工業(株)西部支社	番 清彦	新菱冷熱工業(株)大阪支社	菅家 誠司
川本工業(株)大阪支店	近藤 順	須賀工業(株)大阪支社	森内 啓治
(株)かんでんエンジニアリング	中村 武志	(株)精研	笹川 政美
木村工業(株)	木村 之彦	第一工業(株)大阪支店	菅原 英俊
協伸工業(株)	森岡 晟	第一設備工業(株)大阪支店	祝出 富弥
(株)共進社工業所	山内 昇平	(株)大気社大阪支社	向井 浩
享和設備(株)	竹本 和正	大貴設備(株)	田窪大五郎
クウケン(株)	泉岡 重照	(株)ダイキンアプライドシステムズ大阪支店	黒川淳一郎
九櫻設備工業(株)	高安惣二郎	ダイクウ(株)	中村 淳一
(株)クドウエンジニアリング	古川 國一	大晃設備(株)	樋上 雅一
五建工業(株)大阪支店	山下 公正	大成温調(株)大阪支店	仲吉 弘一
斎久工業(株)大阪支社	高島 龍訓	大成設備(株)近畿支店	正木 博己
財馬冷熱工業(株)	財馬 利幸	ダイダン(株)大阪本社	太田 隆
三機工業(株)関西支社	玖村 信夫	大熱工業(株)	藪本 繁明
三建設備工業(株)大阪支店	田辺 宣孝	(株)大和商會	玉置 薫

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
高砂熱学工業(株)大阪支店	田渕 潤	(株)伯太工業所	藤井 康彰
(株)タカネツ	高木 徳康	(有)原 設 備	原 良一
田丸産業(株)	堀田 高志	日比谷総合設備(株)大阪支店	下田 敬介
中央設備エンジニアリング(株)大阪支店	比嘉 一	(株)一二三工業所	一二 哲規
津田工業(株)	津田 敦史	(株)不二設備工業所	水田 幸宏
(株)テクノ菱和(株)大阪支店	若村 恒夫	不二熱学工業(株)	近藤 徹
東洋工業(株)	谷本賢太郎	富士古河E&C(株)関西支社	森兼 正夫
東洋熱工業(株)大阪支店	中山 幸三	(株)北 祥	澤村 幸雄
西川設備工業(株)	益本 光明	(株)前田商会	前田 隆司
(株)錦	和田 隆夫	(株)マサキ設備	正木 康晴
(株)西原衛生工業所(株)大阪本店	澤田 憲治	丸 住 (株)	吉田 博子
日建設備工業(株)	三井 正雄	美和設備工業(株)	栢瀬 秀樹
(株)日設関西支店	前田 暁	柳生設備(株)	福地 文雄
日本管工業(株)大阪営業所	並田 和明	(株)柳澤設備	柳澤 満弘
日本設備工業(株)大阪支店	石田 博夫	山田工業(株)	中道 保信
日本ファシリオ(株)大阪本店	杉本 卓	若林設備工業(株)	若林 尚史
日本メックス(株)関西支店	二村 洋一	(株)渡部工業所	渡部 臣雄

賛 助 会 員

(33社)

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
朝日機器(株)大阪支店	加藤 淳一	(株)テクノフレックス大阪営業部	青山 昭
安 藤 (株)	安藤 康雄	東 テ ク (株) 大 阪 支 店	小山 馨
イシグロ(株)関西ブロック	浅利 政史	T O T O (株) 関 西 支 社	小山田誠太郎
井下機器(株)大阪支店	東口 和彦	東洋バルヴ(株)大阪営業所	小吹 雅則
英和商工(株)	尾名 隆司	(株)ニシテックビルシステム事業部	米田 俊幸
(株)荏原製作所(株)大阪支店	管野 善幸	ニッタ(株)クリーンエンジニアリング事業部	國枝 信孝
(株)川南ファシリテイズ	小南 長門	日本水処理工業(株)	川西 昌史
(株)川本製作所(株)大阪支店	松尾 吉実	(株)日立産機システム関西支社	森井 厚雄
北九州空調(株)大阪営業所	渡邊 定男	日比谷通商(株)大阪支店	八幡 泰伸
木村工機(株)本社営業部	登尾 公彦	(株)ベルテクノ大阪支店	松尾 英樹
協立エアテック(株)大阪支店	西 勇次	三菱電機冷熱機器販売(株)関西支社	吉田 和彦
三和鋼管(株)大阪営業所	藤井 洋央	森松工業(株)大阪支店	齋木 慎嗣
新晃工業(株)大阪支社	宮地 祥一	(株)大和バルブ大阪支店	湯浅 雅宏
新日本美風(株)	植松 俊行	ヤンマーエネルギーシステム(株)大阪支社	斉藤 信雄
(株)ダイキアクシス大阪支社	馬場 一弘	(株)ユニックス大阪営業所	川口 寛
高井水栓(株)	高井 徹	(株)L I X I L	中島 雅司
タカラ通商(株)	三上 幸男		



平成 25 年 8 月 14 日午後、第 5 回配管技能コンテスト表彰式で、司会が優勝から第 5 位までの生徒を発表しました。続いて表彰状授与となり、「高校の部 大阪府知事賞」が優勝した生徒に授与されました。

大阪府のご配慮により今回から授与された大阪府知事賞、高校生が夏の配管技能コンテスト、1 月・2 月の配管技能検定試験に挑戦していることを聞いていただいた大阪府商工労働部人材育成課が、高校生を激励したいと授与していただくことになりました。当日は、人材育成課課長補佐片山幸治様が授与のためご出席くださり、挨拶もいただくことができました。

また、表彰式には、大阪府立布施工科高等学校校長阿部政之様、大阪府立東住吉総合高等学校校長永井亘様にご出席いただき、高校生を激励するご挨拶をいただきました。

「大阪府知事表彰」を授与いただくことになった意義は大きく、コンテストに参加する高校生の意気込みも強くなり、審査に係わっていただく大阪府立布施工科高等学校及び大阪府立東住吉総合高等学校の先生方もより一層ご尽力いただいております。

滋賀県立彦根工業高等学校からは今回 3 名参加されました。第 3 回以降、毎年遠い滋賀県から参加いただいております。一般社団法人滋賀県空調衛生設備工業協会が毎年参加者に講習を実施して参加推進をしていただき、当日は協会会長田中才知郎様、専務理事堀江善伍様、彦根工業高校の藤森敏一先生、川崎一彦先生、藤井順三先生も生徒の支援に駆けつけてくださいました。皆様の

ご支援があるからこそ毎年参加ができます。関係の皆様に深く感謝申し上げます。

今回のコンテストで優勝した大阪府立布施工科高等学校 3 年田中誠君、西谷天志君が平成 25 年 11 月 22 日から開催された第 51 回技能五輪全国大会（配管職種）に出場しました。大阪府から現役高校生が出場するのは初めてです。コンテストを通じて技能五輪全国大会出場も視野に入れておりますので本当に嬉しく思います。

一方で、一般配管工が参加する一般の部は、大阪府職業能力開発協会のご配慮で、今回のコンテストから、優勝者には「大阪府職業能力開発協会会長賞」を授与していただきました。このように、第 5 回配管技能コンテストは、新しい歴史を刻むことができました。関係者の皆様のご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。

コンテストの作品製作の精度は高く、また、何回もコンテストに参加される方々もおられます。今回一般の部で優勝した生田一之様はコンテスト 3 年連続挑戦で優勝を勝ち取られました。

自身の技能に誇りを持ち、精度の高い作品製作に挑まれる配管工の皆様、そして、その姿を生きた教科書として学び、モノづくりの魅力を実感される高校生の皆様が、これからの建設業界の主役として、また後継者として頑張ってください。心からお願いいたします。 (M.S)

大空衛 第 74 号

平成 26 年 1 月 31 日発行

編集人 広報委員会

発行人 一般社団法人 大阪空調和衛生工業協会
〒541-0052

大阪市中央区安土町 1 丁目 6 番 14 号

朝日生命辰野ビル 2 階

Tel 06 (6271) 0175

Fax 06 (6271) 0177

E-mail:osakakueikyo@tenor.ocn.ne.jp

URL <http://daikuei.com>

印刷 新阪神印刷株式会社

